

株主対話、資本コスト、ESG等を念頭に

# 2024年6月株主総会 の準備対応

コロナ後での株主との対話のあり方を再検討

第1章

## 本年6月総会における 運営上の留意点

東証要請、サステナビリティ、買収防衛等

第2章

## 本年6月総会にあたり 確認しておきたい諸論点

業績や取締役会の独立性・実効性等にも注目

第3章

## 機関投資家等の議決権行使基準 改定と株主提案の動向

物価・為替の変動、ROE、賃金アップなど

第4章

## 財務事項を中心とした 本年6月総会の想定問答

本年6月開催の株主総会では、アフターコロナにおける株主との対話のあり方を模索しつつ、2023年3月の東証によるPRB1倍割れ問題への要請、サステナビリティ開示など、株主が関心をもつテーマについて、対応を検討する必要がある。また、機関投資家からはガバナンスはもちろん、業績や資本コストへの意識も問われている。これらの課題への対応を踏まえて、株主総会における準備実務を解説していただいた。